



発信型図書館を
目指して

クリックすれば「世界」が開く

本学図書館のオリジナル 主題別書誌データベース

Books on Japan in European Languages

NIPPONALIA (ニッポナリア)

ヨーロッパ言語による日本研究資料のコレクション。古くは安土桃山時代のイエズス会宣教師ルイス・フロイスの自筆書簡から、江戸時代に来日したドイツ人シーボルトの大著『日本』、さらには現代の「ジャパノロジー」といわれている研究の成果までを多数所蔵しています。欧米の人々から見た日本と日本人研究書の宝庫です。

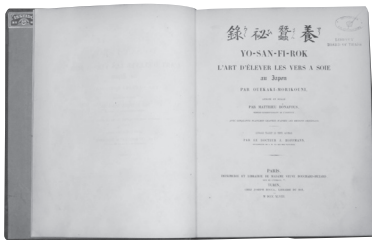
“Yo-San-Fi-Rok” (『養蠶秘録』) もここに収録されています。



この主題別書誌データベースは現在58種類あり、
年々増加しています。

あなたの学習と研究にあわせてお使い下さい。

帰国時のシーボルト事件での国外追放、さらに1859（安政六）年に再来日して1862（文久二）年に帰国するまでの過程で、何らかの方法でこの書物をオランダへ持ち出しました。



Yo-San-Fi-Rok; l'art d'élever les vers à soie au Japon.
(本学図書館所蔵)

こうしてオランダへ渡った『養蠶秘録』は、シーボルトが二度目の訪日から帰国して約2年後の1848（嘉永元）年にオランダの皇室翻訳官である J.ホフマンによって翻訳のうえ、パリとイタリアのトリノで出版されました。同書の標題紙に書かれたフランス語書名は Yo-San-Fi-

Rok; l'art d'élever les vers à soie au Japon で、日本語で「養蠶秘録」と墨書風の記述があり、著者はOUEKAKI-MORIKOUNIと標記されて、上垣守國を示しています。頁立ては序文24、本文128、図版49枚、他に日本地図等3枚から成っています。序文はマシュウー・ボナホウという人物によって書かれ、ここで上垣の書物がオランダ国王の書物を豊かにしたとしてシーボルトの功績を称えています。また、西村と速水の絵も原典からの模写図版が作られ巻末に貼付されていますが、図版となった絵の数は原典よりも少なくなっています。

■イタリアも助けたメルメ・ド・カシオン

もう一人、当時の在日外国人でこの『養蠶秘録』に注目した人物がいました。この人はパリ外国宣教会の司祭で、琉球に来て日本語力を高め1858（安政五）年にグロー全権公使のもとで日仏修好通商条約の締結や翌年の条約批准に